

令和5年度 第2回 学校運営協議会 議事録

| | |
|--------|------------|
| 校名 | 府立かわち野高等学校 |
| (准)校長名 | 校長 尾方 崇光 |

| | |
|---------|--|
| 開催日時 | 令和5年11月27日(月) 14:10 ~ 17:00 |
| 開催場所 | 府立かわち野高等学校 2棟3階 アクティブラーニングルーム |
| 出席者(委員) | 蛭田会長、内田委員、江田委員、今井委員、渡邊委員 ※中野副会長欠席 |
| 出席者(学校) | 尾方校長、志村教頭、高須事務長、中田首席兼教務部長、奥首席兼第1学年主任、木戸生徒指導部長、稲穂進路指導部長、第3学年主任 吉本、第2学年主任 松村 |
| 傍聴者 | — |
| 協議資料 | 「かわち野今後検討PT資料」 |
| 備考 | |

| | | | | | |
|---|-------------------------------|----|---------------------------|----|-------------------------------|
| <p>議題等(次第順)</p> <p>1. 学校長挨拶(校長:尾方 崇光) 2. 会長挨拶(会長:蛭田 勲) 3. 委員紹介 4. 協議:授業見学について(ICTを活用した授業及び専門コースの授業)機能統合に向けた取組みについて 5. 各組織からの報告 6. 事務連絡:第3回学校運営協議会予定について</p> | | | | | |
| <p>協議内容・承認事項等(意見の概要)</p> <p>・授業見学について(3年体育・1年情報・2年数学・3年地理)の意見 <蛭田会長>:「教える」には、「teach」「corch」があるが、どのような生徒を育てるかという目標を立てつつ、どう導くのかどうスキルを磨くのか学校教育を充実させていくには重要となる。 <内田委員>:体育で自由度の高いところから、情報では集中して静かに作業しているところ、数学でICTを活用してわかりやすく導いているところと、地理で興味関心を引いているところ・・・生徒が一生涯懸命授業に取り組んでいる姿を拝見できた。生徒に社会で生き抜く力を身につけるため、先生方の授業スキルが重要になってくる。 <江田委員>:ラグビーは難しそうに見えて形になっていたのが、先生の頑張りが見えた。体育館での女子ソフトボールが斬新であった。数学はICTを活用して、教室全体が集中して授業に入り込んでいた。地理は、ふわっとした雰囲気の中から生徒の意見を引き出していた。ICTの革新に流されそうになるが、自分の意見を発信できる生徒を育てて欲しい。 <今井委員>:生徒が元気で社会に出てもやっていけると感じた。発言できることの重要性を大切にしたい。情報はフリック操作が多い中で、しっかりとタイピングを教えていたのが良かった。数学は非常にわかりやすかった。「議論する」授業は、生徒たちの成長につながる。 <渡邊委員>:体育楽しそうであった。情報は自分も受けてみたかった。社会は教科書だけにとらわれず、教師との対話で学ぶ「楽しい」授業は印象に残った。 ・機能統合に向けた取組みについて 昨年度は、業務精選を中心に協議を進めたが、本年度からは機能統合に向けた検討を進めて行く➡承認 協議内容は主に、専門コースの継承。備品、消耗品物品の仕分け、受け渡し。廃棄物の整理、廃棄手順。校内の未確認倉庫等の不要物の確認を今年度中に確認。➡承認 ・各組織からの重点目標に対する進捗報告 <教務部>:デジタル採点について2学期中間考査から希望制で運用一部開始。使い勝手が良いことが検証され、希望者も増えており、少しずつ浸透。採点前の登録手間は少し大変であるが、採点時間は、大幅削減。働き方改革の一助になる。授業公開の教員研修を昨年度と違う形で実施予定。「授業でのICT活用」をテーマに活用事例を紹介し、グループワークで協議する形の研修を計画。 <生徒指導部>:「遅刻」このままでは年度末までに、年間目標を超えてしまう。部活動は、サッカー一部はユニフォームを新調して公式戦出場。男子バスケットボール部も人数が増え、活気が出てきた。学校行事は、ほぼコロナ禍前の形に戻しての実施ができたと考えている。生徒数減に伴う新たな形を模索していく。 <進路指導部>:今年度、学校斡旋による就職希望者は22名。一次試験で一部不合格となった者も二次で全員合格となった。進学については、指定校推薦33名。高大連携事業による選抜での受験者が数名いる。 <第3学年>:進路決定に向け、それぞれが取組んでいる状況。欠席、遅刻が多い、TPOをわきまえた服装、授業への取組み等課題が多くあるが、文化祭やミニ運動会の実施を踏まえて卒業に向け、粘り強い指導を行っていく。 <第2学年>:「企画から学ぶ」という学年テーマの元に、修学旅行や文化祭等において生徒中心に良い取組みもあり、課題もありで、今後も年末から年明けにかけて生徒主体の取組みを複数企画しているので、この課題を踏まえて、生徒にすべて任せる形で進めていきたい。 <第1学年>:担任がこまめに粘り強い指導をしているが、生徒がついてこなかったり、保護者の協力を得ることができなかつたりする場面が多くあった。考えが「幼い」生徒が多く、コミュニケーションが苦手な生徒も多くおり、クラスの中で集団が分かれてしまう傾向がある。合唱コンクールやピオトープでの畑作業を通して、さまざま経験を通しての集団作りを考え運営している。</p> | | | | | |
| <p>次回の会議日程</p> <table border="1"> <tr> <td>日時</td> <td>令和6年2月5日(月) 15:40 ~ 17:00</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>府立かわち野高等学校 2棟3階 アクティブラーニングルーム</td> </tr> </table> | | 日時 | 令和6年2月5日(月) 15:40 ~ 17:00 | 会場 | 府立かわち野高等学校 2棟3階 アクティブラーニングルーム |
| 日時 | 令和6年2月5日(月) 15:40 ~ 17:00 | | | | |
| 会場 | 府立かわち野高等学校 2棟3階 アクティブラーニングルーム | | | | |